

■第2部:意見交換 テーマ「防災活動の取り組みと課題」

取り組み

【共助】

- ・防災訓練（避難・初期消火・テント組立・応急処置・炊き出し（ほか）
- ・各種訓練（AED・水出し・地震体験・炊き出し（ほか）
- ・点検整備（消火栓・消火器・危険箇所ほか）
- ・防災広報（毎月各戸配布・防災マップ作成・入船区）
- ・防災会議（毎月開催・入船区）

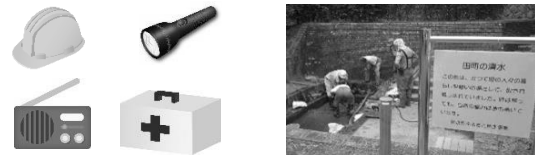


【自助】

- ・家族一人ずつにヘルメットを準備
- ・家具の下敷きにならないように注意
- ・井戸の水を災害時に使えるように準備
- ・食料の備蓄、水分の確保、薬の用意
- ・電池式火災警報器、屋外に消火器設置

【公助】

- ・自治区予算にて防災資機材を整備
- ・自治区予算にて田町の清水を整備



課題

【防災訓練】

- ・参加者が区民の10%以下
- ・高齢化。若者の参加が少ない
- ・参加者をどうしたら増やせるか？
- ・マンネリ化。新しいものが必要
- ・見直し（内容・回数・時間）
- ・区民への周知方法。回覧を読まない。

【情報】

- ・地震規模、被害想定把握
- ・要援護者情報の把握
- ・消火栓等水源の位置の把握

【スキル・マニュアル】

- ・防災資機材の取扱い研修・点検
- ・非常時の行動パターンの作成
- ・防災リーダーの育成、消防団員の確保

【インフラ】

- ・道路が狭く、行き止まりが多い
- ・一時避難先がない。避難先が危ない。

【コミュニティ】

- ・アパートの住人が分からない
- ・各戸の日常の人員の把握
- ・隣近所のコミュニケーションの場づくり
- ・向三軒両隣の共助

■第3部:現地見学 「指定避難所(新城小学校)」

今年の地域自治区予算で新しい防災倉庫を買ったに！新城の9行政区のみんなで使うやつだでん！



防災倉庫

場所：新城小学校校庭（西門の北側）  
サイズ：4m×2m×2m  
構造：奥に棚3段あり

※管理体制及び収納資機材等については、今後9行政区による会議体にて協議予定。



新城小学校の防災設備

- ①避難スペース 767㎡（約473畳） 床暖房つき
- ②防災備蓄室 約10畳
- ③シャワー室 2ヶ所
- ④野外トイレ 5か所 ※マンホールから下水直結
- ⑤大型外部電源接続端子
- ⑥太陽発電による非常用電源
- ⑦蓄電池 1機
- ⑧公衆電話（緑色） 1台
- ⑨25mプール ※雨水利用
- ⑩大型トレーラー進入路 ※現在工事中



新城小学校の屋上にソーラーパネルをつけたもので新しく非常用の電源が用意出来たでね。



⑥非常用電源  
最大出力1500W  
コンセント2カ所



⑦蓄電池  
最大出力600W  
コンセント2カ所

電化製品	最大使用台数・時間
携帯電話	300台（スマートフォンは100台）
LED照明	100W白熱電球相当 （1個で約190時間、10個で19時間）

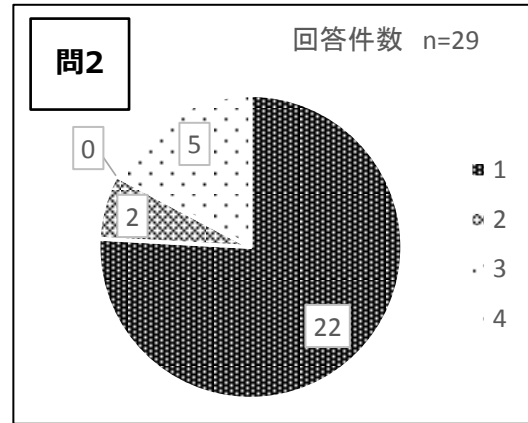
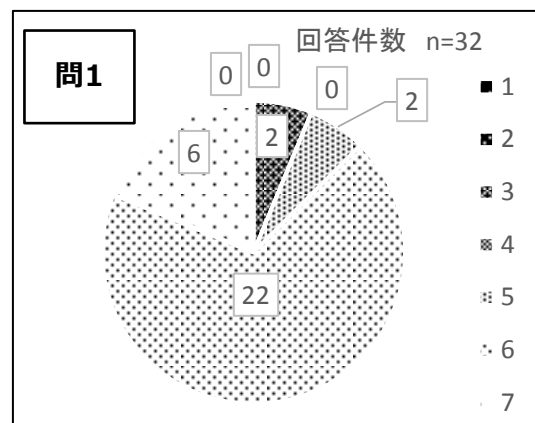
■参加者アンケート

問1. あなたの年齢は？

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

問2. あなたは現在、下記の防災活動団体に所属していますか？（複数回答可）

- ①自主防災会 ②消防団 ③新城市防災ボランティアの会 ④その他



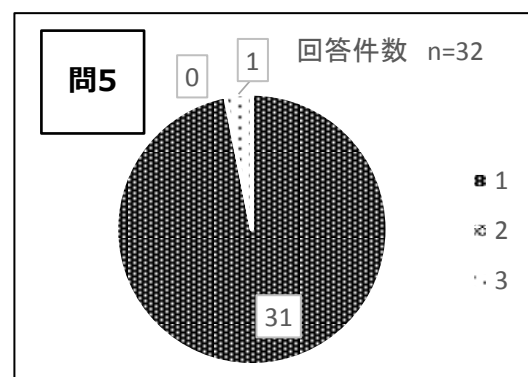
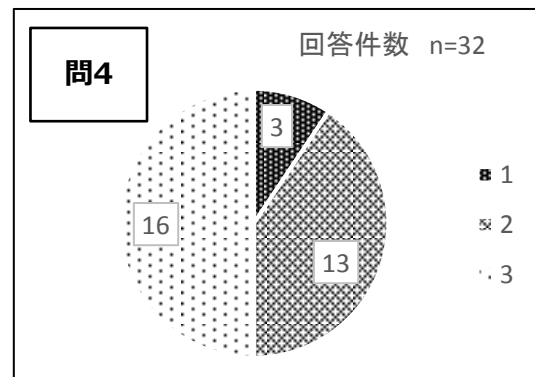
問4. 防災士（※）の資格を取得したいと思いますか？

※地域の防災意識の啓発、防災力の向上に努め、災害発生時には避難誘導・救助にあたる人。NPO法人日本防災士機構の認定する民間資格。

- ①取得してみたい ②取得するつもりはない ③まだ分からない

問5. 今後も、新城自治区全体で防災について考える機会が必要だと思いませんか？

- ①思う ②思わない ③分からない



問6. その他、防災に関してお気づきの点がありましたらお書きください。

市民の防災意識を上げる必要がある。新小体育館の防災設備を市民へ周知させる。  
 防災訓練参加者は、毎年代わっているの、同じ訓練であっても恒常的に行うことをして欲しい。  
 地区合同のワークショップは意義があると思う。定期的(不定期でも)に開催することで意識が高まる。  
 防災も必要であるが減災・避難の方法などに重点を置いた活動も必要だと思う。  
 地域の方に消火栓の位置を知っていただいていると、消火活動が迅速に行えると思います。  
 9行政区の人達が一堂に会し、防災について考え話し合う機会が持てたことは、今後に向けて大変意義深いことであった。  
 このような会について、家屋倒壊と救助、災害時の対応(消化・救助)、避難のありかた、居住場所・食糧の確保等を個別に検討すべき。大きくまとめて考えようとするとうまくまとまらない。

■お問合せ先: 新城自治振興事務所 新城市字東入船6-1 新城市役所西館(はつらつセンター内)  
 電話: 0536-23-7693 FAX: 0536-23-7694 メール: shinshiro-jichi@city.shinshiro.lg.jp



平成28年12月4日(日)、「防災」をテーマに今年2回目となる茶話会が、開催されました。そのときの内容を、まとめましたのでご覧ください。

■第1部:活動報告(新城地域自治区予算事業)「視察研修」・「防災資機材整備」

【視察研修】

- |             |                      |          |
|-------------|----------------------|----------|
| H26 宮城県南三陸町 | テーマ: 避難所及び仮設住宅の運営    | 参加者: 29名 |
| H27 京都市東山区  | テーマ: 住宅密集地における自主防災活動 | 参加者: 22名 |
| H28 長野県白馬村  | テーマ: 日常的な自助・共助の構築    | 参加者: 17名 |



【防災資機材の整備】

各自主防災会へ必要資機材を貸与または支給(ヘルメット・多機能ラジオ・テントほか)

【水源の整備】

田町の清水の改良工事・井戸手押しポンプ設置費補助金

【消防団等備品の整備】

現役消防団員へ防寒服66着を貸与